

株式会社富山県人社 沿革

年　　月

1926年（大正15年）	4	高島多作(1899～1985)が『富山縣及縣人』を創刊し、「富山縣及縣人社」を創業
1928年（昭和3年）	11	昭和天皇即位奉祝行事として京都で「全富山縣人大懇親會」（富山縣及縣人社主催、平安富山縣人會後援）を開催
1932年（昭和7年）	1	題号を『富山縣人』に改題し、社名を「富山縣人社」に改称
1935年（昭和10年）	10	東京で「在京富山縣人家族大園遊會」を開催
1936年（昭和11年）	5	富山市日満産業博覧会に合わせ「内外富山縣人大交歓會」を開催
1936年（昭和14年）	10	時局柄、隣県の県人機関雑誌と合同合併することになり、題号を『縣人雜誌』に改題し、社名を「縣人社」に改称
1944年（昭和19年）	6	戦時統制により国魂社、縣人社、越中郷土研究社、スバル社、辛夷社、高志人社など6社合同で新雑誌を出すことになったが、縣人社と高志人社のみが参加し『高志』を創刊
1945年（昭和20年）	1	戦況悪化で縣人社分の用紙配給が受けられず、縣人社は『高志』から離脱
1946年（昭和21年）	4	富山縣人社が『富山縣人』を復刊
1950年（昭和25年）	～	富山、高岡、東京版、また北陸経済版を刊行し、月に複数号を発行
1951年（昭和26年）	5	高岡産業博覧会に合わせ「内外富山縣人連合大懇親會」「全日本富山縣人会連合会の創立総会」を開催
1954年（昭和29年）	5	富山産業大博覧会の際に「全日本富山縣人会連合会」創立
1980年（昭和55年）	4	法人化し「株式会社富山県人社」設立
	8	高島多作が会長に、高島誠が社長に就任
1983年（昭和58年）	5	置県100年を機に「全国富山縣人会連合会」の設立に協力
1988年（昭和63年）	5	所在地を創業の高岡市大町から本丸町に移転
1997年（平成9年）		通巻1,000号
2000年（平成12年）	10	2000年とやま国体に際し、県内在住の県外出身者による14道県人会を発足
2013年（平成25年）	8	置県130年に際し「ホームカミングデイ」「全国富山縣人会連合会懇談会」開催に協力
2015年（平成27年）	3	北陸新幹線開業に向け「首都圏↔とやま」ネットワーク発掘推進事業に協力
2019年（令和元年）	5	高島誠が会長に、高島一誠が社長に就任
2025年（令和7年）	9	「富山縣人会世界大会」開催に協力